



県議会報告 岡本かずやの

「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2023年10月8日 No.20

9月定例議会。下田看護大学誘致、県の責任を問



和也の近況

夜、虫の鳴き声。秋の気配を耳で感じます。十月三日私の質問（一問一答式）を行いました。下段に二度に分けて紹介します。

前回「おしらせ」で「元気印」を休みますとしました。しかし文章に参院補欠選挙との関わりがなければ大丈夫だとなりましたので「元気印」を発行します。

ボランティアでの婚活サポーター支援。四万十市新食肉センター設備費の市町村の軽減。頓挫した下田看護大学、県の責任と子ども達の願う新しい小中一貫校の開設。野良猫の保護活動への支援。要望を発信。

中山間地域再興ビジョンについて

一、中山間地域が寂れていった根本的な原因について
二、若者が活躍するための林業の取り組みについて
三、若者が農業に参入しやすい仕組みづくりを政策提言することについて

四、中山間地域での学校の存続について
五、婚活サポーターが活動しやすい環境づくりについて
☆高知県中山間地域再興ビジョン骨格案が出た。この間中山間が何でさびれたか原因を明らかにした上で農林業で若者が定住できる仕事作り。学校を残す事。ボランティアの婚活サポーター支援を求めました。

四万十市下田の看護大学誘致問題と今後について

一、四万十市長が県に大学誘致を知事に報告した際の発言について
二、空き家対策総合支援事業補助金に関する四万十市議会での答弁内容について。

三、補助金を申請するにあたる学生確保の見通しについて
四、地方創生拠点整備交付金の申請に係る現地調査審査について

五、看護大学誘致が頓挫したことに対する思いについて
六、子どもたちが望む新たな小中一貫校を作るための支援について

☆頓挫した下田看護大学誘致に県は積極的に関与している県としての総括を行うべき。その上で看護大学建設のために中学校を失い低地の小学校に移った学生が「小中一貫としての新たな学校を作って欲しいです」と願っている国も月寺と寄り添っていく。県にも責任感を持って取り組むべき。